パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会　会報　　２０２０年2月1日　１９７号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

養殖池で網を引く、（左より）上山氏、図師氏、大山氏、滝川君。12月19日

育った稚魚を養殖池に入れる。12月27日

母魚から卵を取り出す。12月20日

より優れた親魚を選び出す。12月19日

パクーの完全養殖 今季も順調にスタート

レダ基地で初めてパクーの人工孵化に成功したのは、二〇一二年十二月三十日。産業インフラのほとんどないアルト・パラグアイ地域において、大掛かりな恒温槽や浄水設備を用いず、人工孵化と稚魚の育成に成功したことは、専門家の目にも画期的なことでした。

それから七年。レダのパクー人工孵化のノウハウは完全に確立し、毎年十二月～一月の繁殖期に人工孵化を行い、五月上旬には稚魚の放流を実行してきました。専門家のマグノ教授を幾たびも派遣してくれたアスンシオン大学の全面協力、レダ基地スタッフの文字通り不眠不休の努力、そして世界各地の皆様による継続的なご支援、これらの総合的な尽力の賜物がレダのパクーです。

完全養殖にあたって極めて重要なのが、優良な母魚と父魚を準備することです。現在レダ基地では、選別した親魚(候補)を専用の養殖池で育成していますが、不本意にも昨シーズンは願わしい親魚を得ることができず、とても悔しい思いをしました。

そこでレダ基地スタッフは、提唱者文総裁夫妻から教えられたパンタナール精神をもって、ハンディを克服してさらに発展しようと、その五月には例年通り、パクー稚魚の放流式を行いました。オリンポ市と近隣の村々から学生と教師を招いて、養殖池の稚魚を追い込み、水揚げし、パラグアイ川に放流するまでの一連の作業を自ら体験してもらうことで、学習と啓蒙の意味合いの濃い行事となりました。レダに来て、自分たちの住む土地の素晴らしさに初めて気づいたという学生も少なくありません。

今季は順調に10万匹以上のパクーを孵化させることができました。味にうるさいアスンシオンのレストランでも「レダのパクーは美味しい」と高く評価されています。この品質を維持し、より低コストでの量産化を目指して、レダ基地スタッフの地道な努力が日々続いています。

レダ基地スナップ

中田実氏(ライフジャケット着用)を歓送。12月12日

第2回パラグアイ先住民40日研修会のレダ日程が終了。12月13日

タロイモの苗を植え付ける。縦列も横列も真っ直ぐに。12月14日

きょうも元気なブタランドの豚たち。12月24日

花木を剪定する図師氏。12月22日

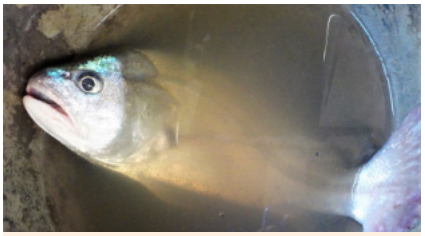
水落氏が窓の網戸を製作・設置。12月

タロイモのお餅を作る小橋氏。1月1日

大山氏を歓送する。12月26日

竹内君を歓迎する。1月10日

国からPCを受賞した優秀学生。



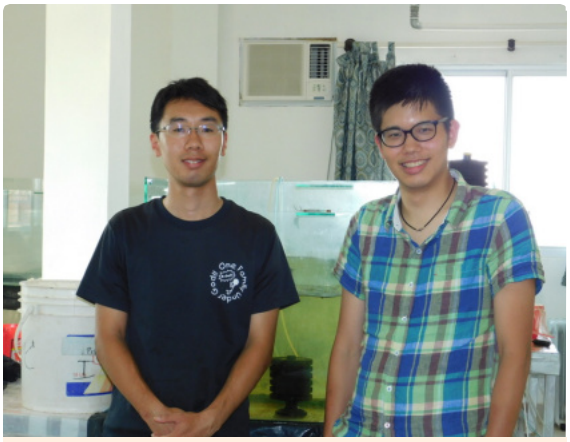
図師氏が釣った淡水コルビーナ。

美味しいタロイモ餅。

毎週日曜日の晩、従業員に講義をする岩澤所長。12月22日

連続50日以上、ワニを見に行きました

加藤誠隆（かとうせいりゅう）君は、昨年7月22日から10月11日まで、レダ基地において奉仕活動に励みました。はじめ友谷将明君とともに、後には一人でエビの養殖研究を担当しました。千葉県出身、21歳。爬虫類や両生類をはじめ、動物が大好きです。



友谷君(左)とともに、エビ養殖研究室にて。

奉仕隊を相手に、養殖場のガイドを務める。

Q：レダで担当したことは？

A：オニテナガエビの養殖研究です。当初は、レダに一緒に来た友谷君と二人で、前任者の水田展聖君から研究を引き継ぎ、力を合わせて取り組みました。その後、友谷君が青年奉仕隊に加わり、9月6日にレダを発たれてからは、一人でエビの養殖を担当しました。

Q：レダから受けた印象は？

A：思っていたより環境が整っていたこと、自然が雄大で、食事も美味しく、心身ともに健康的な生活が送れる所だということ。毎日充実した時間を持つことができ、幸せに過ごせました。

Q：レダで最も苦心したことは？

A：孵化した幼生は、約40日間のゾエア期を経て、ポストラーバという稚エビになります。その過程で急死する幼生もあり、無事にポストラーバになるまで育てることが最も大変でした。はじめレダに来たときは1か月間だけレダで奉仕し、その後は青年奉仕隊に加わる予定でした。けれども人員の少ないレダの事情があって、僕が残ることを決断しました。僕に決断力がついたこと、それによってパラグアイに残れたことは、とても良かったと思います。この3か月間、本当に恵まれました。

ついにパラグアイカイマンの真正面1mまで接近に成功。加藤君自身がスマホで撮影した。2019年9月

Q：レダで最もうれしかったことは？

A：神様が創造された大自然に触れることができたこと、その中にある神様の愛を体験したことです。豊かな緑に囲まれて、毎日リアチョの奥まで自転車でワニ(パラグアイカイマン)を見に行きました。連続50日以上になります。徐々にワニに近づくことができるようになり、正面から1mまで接近し、背後から尾を触ることもできました。ピラニアやピンタードを釣ったことも、楽しい経験です。(編注：パラグアイカイマンは、比較的おとなしい性質のワニですが、気軽に真似しないでください)

見事な歯並びのピラニアと青年たち。

自身の歓送会で語る加藤君。10月10日

Q：将来の抱負は？

A：レダの自然の素晴らしさを見て、これは絶対に失われてはいけないと思いました。本職とするかは別として、自然を保護する活動をしたいと思います。

Q：日本の皆様へひと言、何でもどうぞ。

A：人生の転換点を探している方、壁に直面している方は、限りなく大きな神の造られた大自然に触れることをお奨めします。今迷っている青年は、ここレダへお出でください！

第二十一回一日特別研修会ご案内

春のパンタナール一日特別研修会（ワンデイセミナー）を、左記の要領で開催します。研修会場は、先回と同じセンター棟四階、四〇三室です。

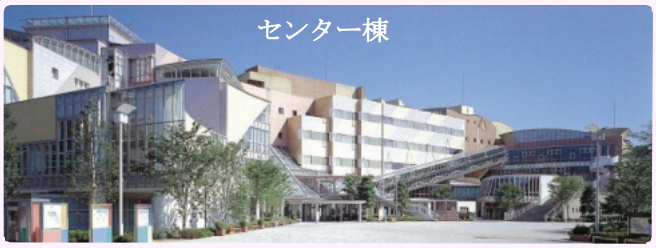
日時：三月二十八日（土）十時受付、五時終了予定

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟四階（小田急線参宮橋駅徒歩七分、または渋谷駅西口40番乗場よりバス、代々木五丁目下車）

参加費：二〇〇〇円（昼食を含む）当日受付にて

参加を希望される方は、ファックスまたはメールで、下記の当法人事務局宛てお申し込みください。（応募用紙の請求も同事務局へ）

共催：一般社団法人 南北米福地開発協会、ＮＰＯ法人 地球の緑を守る会


センター棟

プログラム（予定）

- 「レバレンド・ムーンの思想とレダ開発」講師：柴沼邦彦＝当法人理事
- 「レダと日本における植樹活動」講師：高津啓洋＝ＮＰＯ法人地球の緑を守る会代表理事
- 「レダプロジェクトの展望（仮）」講師：中田欣宏＝当法人代表理事
- プレゼン：島田賢二青年局長
- レポート：レダ基地から最近帰国した青年ボランティア、基地スタッフなどによる体験報告。
- 分科会：各講師を囲んで、質疑応答、感想発表ほか、親しく懇談する時間があります。

中田欣宏代表理事

高津啓洋講師

柴沼邦彦講師

検索 ウォームシェア

ウォームシェア（WARM SHARE）という言葉を耳にしたことはありませんか？ 人が複数集まることによって、暖房に要するエネルギーを節約しようという考え方です。地球温暖化を抑制するために、ウォームビズの一環として、環境省が奨励しているあの手この手の方策があります。以下、環境省のウェブサイトからの引用です。

家庭やご近所でウォームシェア

家族やご近所どうしがひとつの部屋・場所に集まって過ごせば、エネルギー消費を減らせるだけでなく、コミュニケーションも深まります。

家族が集まりウォームシェア

家族が別々の部屋で暖房を使うと、エネルギーを多く消費してしまいます。みんながひとつの部屋に集まれば、エネルギーを節約しながら、コミュニケーションも深まります。

鍋でウォームシェア

みんなでひとつの部屋に集まって鍋を楽しめば、心もからだもあたたまります。地元の食材を選べば、地域も元気になりますね。

ホームパーティでウォームシェア

仲間どうし、自分の部屋の暖房を止めて集まりましょう。お財布に負担をかけず、楽しく過ごすのはいかがですか。

まちでウォームシェア

家庭の暖房を止めてまちに出るだけで、エネルギー消費を減らせます。公共施設等でゆったりとあたたかく過ごすのはいかがでしょう。スポーツをしたり、銭湯に行くことや飲食店に出かけて楽しむのもウォームシェアです。たくさんの人が集まることで、まちも元気になります。

ウォームシェアスポット

家庭の暖房を止めてきた人に、あたたかく楽しく過ごせる場所やサービス（ウォームシェア特典）をご提供いただける施設やお店などです。

一般社団法人
南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001
神奈川県川崎市高津区
溝口３－１１－１５
岩崎ビル４Ｆ

電話：044-829-2821
FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）
記号10280 番号６１349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール:office@asd-nsa.com
ホームページ:https://asd-nsa.com
Facebook:https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

会員種別

♠会員一口1000円／月
♠特別会員一口１万円／月
♠法人会員一口１万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。
会費振替用口座 ゆうちょ銀行
00290-5-113072
加入者名：シャ）南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集

チュリンチェ
コウカンチョウ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局：office@asd-nsa.com へお願いします。